

第74回 行田市文化祭を開催します

展示部門

日 時	場 所	参加団体または内容
11月3日(木)～6日(日)午前9時～午後4時 ※6日は午後3時まで	産業文化会館ホワイエ	行田市工芸協会カリタスS41、行田市写真連盟、行田市書道人連盟、美布の会、行田美術会
	産業文化会館管理棟2階	行田絵手紙あおい会、行田フラワーデザイン協会、行田市俳句連盟
11月4日(金)～6日(日)午前9時～午後4時 ※6日は午後3時まで	コミュニティセンターみずしろ	行田市華道会
10月29日(土)～11月14日(月) ※14日は午後3時まで	郷土博物館	行田市菊花連絡協議会(第48回行田市菊花展)

大会・発表部門

催し名(団体名)	日 時	場 所	備 考
短歌大会(行田短歌連盟)	11月17日(木) 午後1時30分～5時	コミュニティセンターみずしろ	無料 ※オープン歌会につきどなたでも参加可
ステージ発表 (行田市合唱連盟) (行田吹奏楽連盟) (行田演奏家連盟)	11月23日(木) 午後2時開演	「みらい」文化ホール	無料

- ▶主 催 埼玉県、埼玉県教育委員会、行田市、行田市教育委員会、行田市文化団体連合会、埼玉県芸術文化祭実行委員会、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
- ▶主 管 埼玉県芸術文化祭行田市実行委員会
- ▶そ の 他 行田短歌連盟(展示)、さきたま盆栽会、行田市茶道会「茶席」、行田市碁楽会「囲碁大会」、行田市将棋連盟「将棋大会」、産業文化会館管理棟2階の体験コーナーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。※状況により日時や内容の変更および中止となる場合があります。
- ▶問い合わせ 埼玉県芸術文化祭行田市実行委員会事務局(生涯学習スポーツ課内) ☎556-8319

令和4年度第3回行田市人権教育講座 人権啓発映画『お終活』上映会

- ▶日時 11月10日(木)午後1時30分～3時30分(午後1時開場)
- ▶場所 「みらい」文化ホール
- ▶作品内容 熟年離婚寸前の夫婦が、葬儀社の男から紹介された終活フェアをきっかけにてんやわんやの大騒ぎ。人生百年時代といわれる今、定年後に訪れる「熟年の青春＝熟春」を明るく迎えるために人生整理に動き出す家族の騒動をコミカルに描いた「笑って」「泣いて」「役に立つ」ヒューマンコメディ。
- ▶対象 市内在住・在勤の方
- ▶定員 500人(入場整理券が必要)
- ▶入場料 無料
- ▶主催 行田市教育委員会、行田市人権教育推進協議会
- ▶その他 マスクを着用してください。
- ▶申し込み 10月11日(火)から生涯学習スポーツ課で入場整理券を配布※なくなり次第終了
- ▶問い合わせ 同課人権教育推進グループ ☎556-8319

行田はちまんマルシェ 2周年を記念してプレゼント企画を実施します

- 行田はちまんマルシェは、10月でオープンしてから2周年を迎えます。これを記念し、10月に開催する同イベントで買い物してくれた方にプレゼントを差し上げます。※30日はハロウィンイベントを予定
- ▶日時 毎週日曜日午前9時～正午
 - ▶場所 若葉保育園駐車場(行田11-10)
 - ▶販売品目 朝採れ野菜や果物をはじめ、菓子などの加工品、クラフト品など
 - ▶主催 行田はちまんマルシェ実行委員会
 - ▶その他 駐輪場は大黒屋駐車場(行田17-16)、駐車場は明治安田生命駐車場(行田17-19)をご利用ください。
 - ▶問い合わせ 農政課(内線388)



全国近代化遺産一斉公開2022

行田市の日本遺産をめぐる～足袋蔵等近代化遺産見学・体験ツアー～の参加者を募集します

普段は見られない足袋蔵や足袋工場の見学、花手水めぐり、本藍染体験、プチ足袋づくり体験など、行田の日本遺産の構成資産を歩いて巡るツアーを実施します。

▶日時・内容など

	日 時	内 容	参 加 費
①	10月20日(木) 午前10時～午後4時	足袋工場見学&足袋蔵でのコースターづくり体験 武蔵野銀行行田支店、イサミコーポレーション足袋工場などを見学、牧野本店でコースターづくり体験、忠次郎蔵で昼食	1,600円 (体験料、昼食代、保険料)
②	11月6日(日) 午前10時～午後4時	マルシェの日に足袋蔵めぐりと藍染体験 藍染体験工房「牧禎舎」で本藍染体験、はちまんマルシェ、足袋とくらしの博物館などを見学、忠次郎蔵で昼食	1,900円 (藍染体験料、昼食代、入館料、保険料)
③	11月19日(土) 午前11時～午後5時	足袋蔵と夕暮れの花手水「希望の光」見学 足袋とくらしの博物館、大澤家住宅旧文庫蔵、小林家住宅、花手水「希望の光」などを見学、Vert Caféで昼食	1,500円 (昼食代、入館料、保険料)
④	11月23日(木) 午前10時～午後4時	足袋づくりプチ体験&花手水めぐり 古蛙庵(足袋蔵民芸館)、花手水などを見学、郷土博物館でプチ足袋づくり体験&特別展見学、カフェ閉居で昼食	1,500円 (昼食代、保険料)

- ▶集合・解散場所 足袋蔵まちづくりミュージアム(行田5-15)
- ▶定 員 各回15人(先着順)
- ▶主 催 行田市教育委員会、行田市日本遺産推進協議会、全国近代化遺産活用連絡協議会、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会
- ▶そ の 他 新型コロナウイルス感染症の状況により内容が変更になる場合があります。
- ▶申し込み 10月1日から各開催日の5日前までに電話またはEメールで文化財保護課【Eメール】bunka@city.gyoda.lg.jp
- ▶問い合わせ 同課 ☎553-3581



稲わらなどは燃やさず有効活用しましょう

稲わらおよびもみ殻の焼却に対して、毎年多くの苦情が寄せられています。野焼きは、法律で禁止されていますが、農業を営むためにやむを得ないものとして行われる焼却は、例外とされています。

しかしながら、この焼却により、地域住民の健康への影響(喉の痛みやぜんそくなど)や火災の恐れ、通行の妨げ、また洗濯物や室内に付着する臭いなど生活環境への影響が甚大となっています。そのため、できる限り田畑へすき込むなど資源として有効活用し、焼却を控えるようお願いします。

- ▶問い合わせ 農政課(内線386)

下水道事業受益者負担金をお支払いの方へ

第2期納期限 10月31日(月)

受益者負担金は、下水道供用開始となった時点で、使用の有無を問わず土地の面積に応じて賦課されます。この負担金の納付には便利な口座振替をご利用ください。また、期限内の納付が困難な場合は、納付相談をご利用ください。

なお、負担金賦課区域内の土地で売買・相続などにより受益者の変更があった場合は、下水道課までご連絡ください。

- ▶問い合わせ 同課業務グループ ☎564-0303